

★（様式A）通常事業評価シート【R4年度実施事業（一部）／まちづくり推進部市街地整備課による自己評価】

（単位：千円）

No.	事業名	総合計画での位置付け （個別目標）	事業の目的 （誰をどのようにするか）	事業の手段 （今年度の主な活動結果）	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 （決算見込額）	人件費 （参考値）	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	バリアフリー化事業	平和で、多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、自分らしく生活できる環境が整っている	高齢者、障害者、児童その他すべての人が安全で快適に移動できる環境を整えるため、道路や鉄道駅舎のバリアフリー化を推進する。	令和4年度のバリアフリー特定事業の推進確認	2：一定近づいた	継続	-	1,433	1,433	国等補助金の活用	事業部局との円滑な調整を行う	
2	地域交通充実事業	にぎわいや活力を支える基盤が整っている	交通弱者や路線バスの利用が困難な市民の交通利便性向上と路線バス等の運行の存続を図るため、バスやタクシー等を運行する事業への支援を行う。自転車活用の推進を行う。	バス事業者への運行支援をしながら、新規路線バスの実証運行や福田線ルート変更に併せて利用者の定着を目指した	2：一定近づいた	継続	87,947	12,677	100,624	市内路線バス等利用促進の効率的な手法の検討	公共交通利用促進マニュアルの作成を行う	
3	交通政策検討事業	にぎわいや活力を支える基盤が整っている	目指すべきまちの将来像を実現するため、総合的な公共交通ネットワークを形成する。	市内オンデマンド交通の支援の有り方の検討	3：おおむね近づいた	継続	6,206	16,617	22,823	地域全体の協働の取組	AIオンデマンド交通実装に向けた実証実験での評価を行う	